

## 東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会（第35回部会）議事概要

日時：令和4年1月13日（木）午後7時～午後8時15分  
場所：東淀川区役所出張所3階多目的室

### 【議事】

- 1 開会
- 2 部会長あいさつ
- 3 議題
  - (1) 活動報告及び意見交換
  - (2) その他（意見交換）
- 4 その他
- 5 閉会

### 《配付資料》

- ・ 議事次第
- ・ 資料-1 構想部会ニュース（案）
- ・ 資料-2 地域のつづやきの整理
- ・ 資料-3 活動報告

## 1. 開会

（事務局 東淀川区役所 安達係長）

## 2. 部会長あいさつ

（部会長）

- ・ もと西淡路小学校跡地検討協議が昨日開催され、私と部会員が出席している。元々売却が前提だった土地の話が、地域の意見を聞きながら活用を含めて検討したいと区役所の姿勢が見られたので、現場で取り組んできた結果だと考えている。また、意見交換の場で情報共有したいと思う。

## 3. 議題

### (1) 活動報告及び意見交換

（事務局）

- ・ 構想部会は地域で実際に活動している方々が集まる数少ない場であると久教授から意見を頂いている。この貴重な会議の場で西部地域内の情報を共有頂き、各々の地活協にてその情報を活かして貰いたい。前回の構想部会にて地域の出来事等の情報を可視化したいと意見がありましたので、大判の地図を用意した。

（事務局）

- ・ 東淀川区西部地域が一覧できる地図を用いて情報共有・意見交換を行った。

（事務局）

- ・ 久教授アドバイス等ありましたら、お願いいたします。

（久教授）

- ・ 地域の状況を可視化しつつ、次は地域の特徴を抽出できれば良いと思う。なぜ、集合住宅が集まっているのかといったポイントを分析できればと思う。今昔 map というホームページで昔の地図が閲覧できる、歴史と重ねながら意見交換することで、新たな発見ができる可能性がある。

### **(事務局)**

- ・昨年度のアンケートの結果や前回の構想部会での意見を踏まえ、これまでの経過を簡単に「資料-1 構想部会ニュース(案)」として整理を行いました。他にこのような情報を載せて欲しいといった要望がありましたらお願いします。

### **(部会員)**

- ・アクションプランの作成についてももう少し説明ができるようにして頂ければ良いと思う。

### **(部会長)**

- ・構想部会の活動は、「各地域の情報交換」、「各地域のアクションプランの作成」の2つが主な活動だと思っている。まちづくりに終わりはないので構想部会も1年後、2年後に終わるといったものではないと思っている。
- ・昨日のもと西淡路小学校跡地検討会議の報告をお願いします。

### **(部会員)**

- ・もと西淡路小学校跡地検討会議の中で、西部地域バリアフリーまちづくり構想のテーマから優先度の高いテーマを決めた上で新たな施設のテーマを検討するといった話になっています。開発を進めていく中で西部地域バリアフリーまちづくり構想を地域でオーソライズされたものとして、大阪市や東淀川区も認識していることを感じた。先ほどのニュースの素案に西部地域バリアフリーまちづくり構想が、ツールとして活用されていることを表現して貰えば、分かり易くなるように思う。

### **(久教授)**

- ・今の話は2段階になっていて、「大きな開発、動きに対して地域にはこういう構想がありますとアピールする役割」と「身近な日頃の活動から地域をより魅力的にするにはどうすればいいのかを示す役割」、この2つが整理できると分かり易くなると思う。
- ・他の区の小学校統廃合では、地域と数年かけて、生涯学習が継続して行えることや元々グラウンドだったところには建物を作らないといった条件が整理され、元々小学校が地域に対して持っていた機能を残しながら新たに活用するといった方向性が見えている。地域住民が参加し学校再編のビジョンを作ったから出来たことだと思う。
- ・もと西淡路小学校跡地検討会議の場合でも一つ一つの要望ではなくて地域全体の大きなビジョンがあったから出来たことであり、西部地域バリアフリーまちづくり構想があるから営利目的だけで民間に売却して欲しくないと言信ができていると思う。このような具体的な役割をニュースとして地域に発信して貰えたらと思う。

### **(事務局)**

- ・頂いた意見をベースに修正しながら、引き続き意見交換できればと思う。
- ・前回の部会で意見交換内容をつぶやきとして集めれば、各地域内で活用できるのではないかと意見がありましたので、「資料-2 地域のつぶやきの整理」を作成しました。整理については「1. 西部地域バリアフリーまちづくり構想のテーマ別に整理した固めのイメージ」と「2. 発言をテーマ等でまとめずに雲として並べた柔らかいイメージ」の2パターンで作成している。

### **(部会員)**

- ・意見交換の内容が可視化され大体イメージ通りに作ってもらえているが、今のオミクロン株が拡大

している状況で地域に発信することが難しい。

- ・ 2つ目のイメージで各構想部会の内容をまとめて、地域住民には紙媒体で見て貰う方が良いように思う。

#### **(久教授)**

- ・ 2つのイメージの折衷案で、雲の色で西部地域バリアフリーまちづくり構想のテーマが分かるように整理しても良いように思う。

#### **(事務局)**

- ・ どの地域が発信したかということは分かった方が良いか。

#### **(部会員)**

- ・ ニュースを見た人がどこの地域か知りたくなれば個別で教えれば良いと思う。

#### **(久教授)**

- ・ 別の会議の場で、A学校では出来ない活動がB学校では出来ることを先生同士が共有したことで、A学校では新たな活動を行うための突破口が開かれた。
- ・ 自分の地域の常識が他の地域では常識ではないという事は多々ある。日頃の活動や悩みを共有するだけで問題が解決する可能性があるので、積極的に意見交換して貰えればと思う。色々な話題を共有することが重要です。
- ・ 地域が元気になるような情報を共有する話題を忘れないようにSNSを使うことも良いように思います。

#### **4. その他（意見交換）**

---

- ・ 特になし。

#### **5. 閉会**

---

- ・ 次回の部会は3月10日協議会終了後、東淀川区役所3階区民ホールで開催予定。

以上